



泉丘SSHだより



第5号 H23.7.20
 編集：SSH推進室
 発行責任者：村澤 勉

石川県立金沢泉丘高等学校



コスモサイエンスⅡ 特別講義



7月1日（金）の3、4限目にコスモサイエンスⅡの特別講義が行われました。今回の講師は金沢工業大学科学技術応用倫理研究所所長の札野順先生で、「科学技術倫理とはなにか」という演題で講演をして下さいました。「倫理」ということで最初は身構えていた生徒も、話が進むにつれ熱心に耳を傾けていました。以下に生徒の感想を紹介します。



先生は現代科学では、技術者が倫理について考える必要があると言われていた。確かに今は効率や便利性を求める時代であるので、新しいものを見つけることは大切である。だが、そのようなことばかりを求めていると、環境問題などを悪化させてしまう。この2つを天秤にかけて、最適な手段を見つけることこそ、技術者にとって重要な課題だと分かった。僕も将来は、研究関係の職業に就こうと思っているので、技術者倫理についてもっと理解しなければならないと思った。



今まで倫理とは、難しく自分とは関わりのないものであると思っていたが、科学を学び、将来科学者・技術者として仕事をする上で重要なものであると分かった。1990年代から科学技術が急速に発展し、私たちの生活がどんどん快適になってきている反面、地球温暖化やオゾン層破壊といった環境問題やエネルギー問題が課題になっている。科学者・技術者は専門知識や能力を「何のために」使うかを意識し、さらにこれらの大問題を解決することが求められる。科学技術は人間の行動範囲を拡大するが、科学者は何が良くて何が悪いかという倫理を考え、適切な判断をしなければならない。今回の講義を受けて、科学者を目指すためには、科学技術は使い方によって兵器になってしまうこと、そのため適切な判断、未来の方向性をしっかり意識していく必要があることを知った。



倫理は何が良くて何が悪いかについて考えることが大切だとわかった。科学技術は科学者や技術者が良い目的のために作るものだが少し見方を変えれば良いものにも悪いものにも変化する。9.11同時多発テロがその例であり、科学技術が進歩している今、このような問題をしっかり考える必要があり、倫理がとても重要となっていることが分かった。科学技術をただ進歩させるのではなく、今私達に求められていることは、科学技術をどうコントロールするかであるということがとてもよく分かった。



AIプロジェクト中間発表



7月11日(月)に2年生によるAIプロジェクトの中間発表が行われました。各班ともパワーポイントで作成したスライドや動画を使い発表を行っていました。また積極的に質問する姿も見られました。今回の発表でそれぞれ指摘された改善点があると思います。12月の校内発表会や石川県SSH生徒研究発表会に向けて、研究内容をさらに充実させていきましょう。



夏休み行事予定



《白山野外実習》 【理数科1年生】

7月28日～29日 白山国定公園

動植物や地学観察など野外観察活動を行いながら山頂を目指します。



《マンチェスター大学等海外研修》 【理数科1・2年生 選抜】

8月1日～9日 英国マンチェスター大学 他

選抜試験を通過した1年生6名、2年生10名が参加します。SSH活動や授業で培った英語力を活かす場となります。頑張ってください。



《全国SSH生徒研究発表会》 【理数科2年生 4名】

8月10日～12日 神戸国際展示場

全国からSSHに指定されている高校の生徒たちが集まり、研究成果を発表し交流を深めます。本校からは理数科2年生の4名が参加します。今年度は「泡の科学」というAIプロジェクトの研究テーマについてポスター発表を行います。



《金沢大学理学の広場 ～夏休み高校生のための理学体験セミナー～》 【理数科1・2年生(希望者)】

8月10日 金沢大学角間キャンパス 「光の正体にせまる」、「リズム反応」など

《高校生による青少年のための科学の祭典》 【物理部、化学部】

8月10日 玉川こども図書館 「飛行物体を作製しよう」、「スライドガラスを鏡にしよう」

《中学生サイエンスフェア》 【物理部、化学部、理数科1年生(希望者)】

8月11日 松任文化会館

「飛行物体を作製しよう」、「スライドガラスを鏡にしよう」

《SSH運営指導委員会》

8月30日 金沢泉丘高等学校

本校のSSH事業について、運営指導委員の先生方からご指導いただきます。

